

第8回 糸魚川市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 令和6年4月23日(火) 10時から
- 2 会場 糸魚川市役所 庁議室
- 3 出席委員

教 育 長	靄本 修一
委 員	齊藤 里沙
委 員	山本 修
委 員	楠 愛
- 4 欠席委員 教育長職務代理 谷口 一之
- 5 委員以外の出席者

教育次長	山本喜八郎	
こども課	課長補佐 田村 公一	副参事 飛弾野 郁
	管理係長 田代 正人	
こども教育課	課 長 古川 勝哉	参 事 小川 豊雄
	係 長 植木 靖英	
生涯学習課	課 長 磯貝 恭子	課長補佐 本間 正之
文化振興課	課 長 嵐口 守	課長補佐 榊 正喜
博物館	館 長 竹之内 耕	
書記	こども課主査 上原 奈穂	
- 6 報 告

報告第 19号 糸魚川市学びの多様化検討委員会委員の委嘱について

報告第 20号 糸魚川市学校運営協議会委員の委嘱について

報告第 21号 糸魚川市教育支援委員会委員の委嘱について

報告第 22号 糸魚川市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について

報告第 23号 糸魚川市中学校部活動指導員の委嘱について

報告第 24号 糸魚川市地域学校協働活動推進委員の委嘱について

報告第 25号 各課・機関所管事項について

7 付議案件

議案第 15号 専決処分の報告について
糸魚川市社会教育委員の委嘱の一部変更について

議案第 16号 専決処分の報告について
令和5年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算（第11号）に関する
意見の申出について

8 会議録署名委員の指名 2番 齊藤委員

9 傍聴者 1人

教育長	令和6年第8回教育委員会定例会を開会する。 本日の会議は、1番谷口委員から申出があり欠席である。 報告第19号糸魚川市学びの多様化検討委員会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。
こども教育課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第20号糸魚川市学校運営協議会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。
こども教育課参事	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
楠委員	公民館職員の委嘱区分について再度説明をいただきたい。
こども教育課参事	公民館長や公民館職員は、関係行政機関の職員または、地域の住民どちらの区分での委嘱でも差し支えないことになっている。そのため、公民館職員の区分が統一されていないが、各学校からの推薦に基づき委嘱をする。
楠委員	公民館職員が多いが、地元企業の方がもう少し入る人選になると、今後の中学校部活動の移行やキャリア教育などの教育活動に関して協力を得やすくなるのではないか。
こども教育課参事	今後の参考として、校長会で今ほどの意見を各学校に伝えたい。
教育長	ほかにご質疑はあるか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第21号糸魚川市教育支援委員会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。
こども教育課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
山本委員	以前、教育支援委員会の調査に人が足りないという話があったが、この人数で十分かどうか。このほかに調査委員をお願いしているか。

	以前は大学に協力をお願いしたこともあったが、現在の状況を教えてもらいたい。
こども教育課長	今年度は上越教育大学の関原准教授に委員をお願いしていて、関原先生のゼミ生にデータの分析等にご協力いただけないか打診をしている。決まり次第、報告をする。年々就学支援委員会に上がってくる子どもが多く、この体制の人数では難しくなっているが、検討体制を工夫して、学校の先生に負担がかからないような方法を教育委員会で検討している。
教育長	ほかにご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第22号糸魚川市理科教育センター運営委員会委員の委嘱について、事務局の説明を求める。
こども教育課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
楠委員	委嘱期間が2年間だが、その間に異動される方がいた場合はどうなるのか。
こども教育課長	今年度は改選の年であり、今年から2年間の委嘱となるが、今年度末で異動される方については、来年度補充する。
教育長	基本は2年だが、今年度末に異動があった場合は欠員を生まずに、代わりの方に入ってもらい、人数的には変わらない。
楠委員	糸魚川市内での異動であれば継続して委嘱するのか。
教育長	そういうことになる。
	ほかにご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第23号糸魚川市中学校部活動指導員の委嘱について、事務局の説明を求める。
こども教育課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第24号糸魚川市地域学校協働活動推進委員の委嘱について、事務局の説明を求める。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
山本委員	根知小と青海小学校の担当がいらないが、まだ決まっていないのか。
生涯学習課長	根知小は何かあれば公民館に声がけをするので今のところ推進委員としての活用はしなくてもいいとのことで配置をしていない。ほかの地区においても公民館の主事が手伝っているケースが見られるので、今後は公民館職員に推進委員をお願いする方向でも検討をしたい。青海小は探しているが、なかなか見つからない。ただ、青海中学校の推進員に意見を求める場面があるようなので、兼務につい

	て検討したい。
山本委員	先ほど楠委員も言われたが、学校と地域、学校と企業を結ぶという面でもこの組織の役割はとても大事だと思うので全学校に配置されるといい。
教育長	この一覧表に全ての学校を記載して、実情を付記しておけば全体を見たときに違和感がなくなる。記載がないと疑問が生じる。できれば付記してもらいたい。
楠委員	推進委員の具体的な実務を教えてもらいたい。
生涯学習課長	主に学校のクラブ活動で、例えばミシンの指導をしてくれる人がいないか、あるいは子どもに農業を教えてくれる地元の方がいないかといった際に推進委員に相談をすると、推進委員は地域の情報に詳しいので、それだったら何々さんがいる、これだったらこんな方に声をかければいいとなる。地域と学校をコーディネートする仕事をする。常に学校にいて仕事をするわけではなく、何かあれば連絡をもらって調整をする方がいたり、定期的に学校に通って状況を収集する方もいたり、それぞれのやり方で関わっている。
教育長	ほかにご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、報告第 25 号各課・機関所管事項について、事務局の説明を求める。
	こども課 所管事項報告 こども教育課 所管事項報告 生涯学習課 所管事項報告 文化振興課 所管事項報告 図書館 所管事項報告 博物館 所管事項報告 市民会館 所管事項報告
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
山本委員	こども教育課に 3 点聞きたい。糸魚川市小中学校再配置検討会が予定されているが、この検討会の位置付けと、メンバー構成を教えてください。2 点目は、いじめの認知件数について、小学 2 年生と 5 年生が多かったり、中学 1 年生と 2 年生が多かったりするが、このことの分析はしているか。3 点目は、不登校の数が令和 4 年度と比べると約 1.5 倍になっているが、その分析はしているか。
こども教育課長	1 点目の小中学校再配置検討会は、基本的に庁内委員で、こども教育課、こども課の職員を中心に委員構成をした。この再配置計画は児童生徒数によらず、糸魚川市がこれまで行ってきた子ども一貫教育をさらに推進、充実させるために、どのような学校のあり方が

	よいかを視点に検討する。委員の指導者として上越教育大学の釜田先生、校長会の代表として磯部小学校長から委員として入ってもらい、校長としての立場、それから釜田先生には指導的な立場からご意見ご指導をいただく。年何回と決めずに、月1回程度、庁内で情報共有をしながら、検討していきたい。
山本委員	庁内検討とのことだが、それが教育委員会の施策と関係してくるのか。今までの教育委員会のスタンスは、地元と協議をして、統廃合となれば、その方向で進めてきたが、そのスタンスは変わらないのか。
こども教育課長	山本委員が言われるスタンスに変更はない。市の考えとして再配置について検討をしておき、地域から声が上がったときに、即座に対応できるようにしたい。また、能生小学校を中心とした小学校の老朽化、プールの使用ができないことも大きな課題である。施設面の観点からも再配置の検討をしていきたい。
こども教育課参事	2点目は、詳細な分析はこれからだが、各学校で、その学年の様子をよく見てもらって、小さなことでも認知をしてもらっていることが件数増加の大きな要因だと考える。
教育長	発達段階やクラス替えなど、子どもたちの発達段階に応じて、人間関係の関わり方でトラブルが起きやすい学年として見る捉え方もできる。小学2年生は学校生活に慣れてきて、自我が出やすい。小学5年生は中学年の段階を経て、高学年になり、いろんな活動が活発になっていく。その辺りで子どもたち同士の関わり合い方に未熟な面があって行動に制限ができないところが、いじめという行為に走っているのかもしれない。学校現場等々の情報収集を行い、何が要因になっているかを事務局としては分析する必要があるので、継続して進めてもらいたい。3点目の質問で不登校の増加傾向は分かるが、件数が急激な上昇となっている。その分析、背景はどうか。
こども教育課長	全体としては昨年度比約1.5倍になっている。小中学校別に見ると小学校が1件増、中学校が22件増になっている。中学生の不登校が増えていて、男女別ではそれぞれ28件で同数となっている。昨年度の不登校は34件で中学校は男女とも同数の17件だった。要因は、資料に記載のとおり、無気力・不安、生活リズムの乱れが例年多い。この前段階としてのきっかけ、無気力・不安になるきっかけ、生活リズムが乱れるきっかけは数字には表れてこないが、やはり友人関係のトラブルが多い。この未然防止と、子ども同士のトラブルが発生したときの初期対応をしっかりとすることによって、不登校が減ると考えている。そのほかに昔は子どもが学校へ行きたくないと言うと無理にでも連れて行っただが、コロナを契機として無理に行かないでもいいのではないかという親の価値観の多様性も影響していると考え。

山本委員	学級経営の充実が、いじめ不登校にも学力にも非常に影響してくる。所属している誰もが楽しいと感じられる空間、楽しい学級、環境を作っていくことが大切となる。ぜひ各学校を指導していただきたい。
教育長	教育委員会としても学校訪問の機会があるのでベースとなる楽しい学級、楽しい学習という部分の現状がどうなのか、現場をしっかりと見て、情報収集をして対応を考えたい。
齊藤委員	産前・産後サポートデイケアが始まり、お祝い金支給事業を含めて産前産後の支援が手厚くなったと感じている。このソフト面の充実は今まであまり手をつけてこなかったと思うが、今回これができるようになった背景と、教育委員会としてこの事業の目標とするところを教えていただきたい。
こども課長補佐	親御さん、特にお母さんの心的負担を軽減していくことが、よりよい子育て環境の整備に繋がることからソフト面の制度の充実を図っていききたい。この産前産後サポートについては今年度からスタートをしたので、実施をしながら意見をいただいてより良い制度設計ができるように努めていききたい。特にお母さんの居場所作りも含めて、心のケアを重要視して進めていききたい。
齊藤委員	糸魚川市は子育てをおばあちゃんに頼れる家庭が、他の地域に比べて多いと思うが、今そうでなくなっている現状もある。おばあちゃんも働き世代で、頼れる人がいないというお母さんが、増えてきていると思うので、今こういったソフト面を充実させることがこれからの子育てを軌道に乗せるために重要となる。子育ては0、1、2歳が肝となり、そこがスムーズにいくと、もう1人、2人と考えられるところにもなるので大事に事業を実施してもらいたい。
楠委員	子育てもそうだが、介護と一緒にしている家庭もあると思う。高齢出産によりお母さんの年代が高くなった40代50代は、お母さんのお父さん、お母さんとWケアが必要になってくる方もきつというと思うので、福祉関係者とも連携をしながら、まだ見えていないお母さん方の負担感も意識してもらいたい。
齊藤委員	フォッサマグナミュージアムの焼山展は噴火から50年ということもあり、防災学習としてもとても有効だと思う。山の日に日程が組まれたことも今後に繋がると思うので、防災学習という観点でも、期待している。こういった企画展の宣伝や啓発活動が見てもらいたい人に届いていない気がしてすごくもったいない。啓発活動をしっかりお願いしたい。
博物館長	焼山展はパネル展をミュージアムで行い、あとは野外で焼山の火山噴出物を見て回る地層観察会や、焼山登山を予定している。ぜひとも地域の方だけではなく、子どもたちに来てもらいたい。おしらせばんやホームページに掲載しているが、市内の小中学校にチラシ

教育長 齊藤委員	を入れたり、報道関係に周知したり、広く深くやっていきたい。 親子参加も働きかけてもらいたい。
博物館長	早川地域の方は興味、関心があると思うので、そういった地域に重点的にお知らせしてもらいたい。
教育長	8月24日の土曜日は上早川地区で避難計画を自分たちで作るワークショップを予定している。講師として、噴火を経験している世界ジオパークの北海道の有珠山から専門員をお呼びする。また、同じく世界ジオパークの雲仙普賢岳からも専門員を呼んで、自らの経験を地元の人たちと共有して、一緒に考えていきたい。
生涯学習課長補佐	生涯学習課から青春（アオハル）サポーターの今までの取組、経緯それから実績を一覧表にまとめてもらった。高校生が地域貢献ボランティア活動においてより一層の広がりが出てきたことが大変嬉しいが、こういった高校生の動きについて情報発信をもっとお願いしたい。高校で今学んでいる生徒、あるいは地域の人たちにもっと工夫して積極的に発信してほしい。何かアイディアはあるか。
山本委員	現在は実績報告がされていないので、ホームページや広報を活用しながら、どんどん紹介して、また次のボランティア活動へと繋げたい。
生涯学習課長補佐	関連して聞きたい。例えば地区、地域で何か行事をするときに高校生に手伝ってもらいたい、また市内の団体で、何かプログラムを実施するときに高校生に手伝ってもらいたいときは生涯学習課にお願いすることは可能か。
教育長	今のところ市が関係する事業だけで行っているが、今後の課題として、市が関与していない事業を青春（アオハル）サポーターに繋げるための方法を検討している。ボランティア保険の問題があるが、それが解消できれば企業や地域でも活動できると思う。
楠委員	進め方によっては非常に発展性のある、広がりのある活動となる。高校生も1年1年と成長をするので、高校生で地域貢献活動、青春（アオハル）サポーターの体験をし、重ねていくことは、子どもたちの成長にとって大事な位置付けになるのでぜひともお願いしたい。
生涯学習課長補佐	能生図書館の学習室、青海図書館の利用がかなり伸びている。その分析はされているか。
教育長	能生図書館は、平日は中高生や社会人の利用が増え、土日は小学生の利用が増えている。青海図書館は、中高生の利用が増えたことで前年よりも利用者が大幅に多くなったが、学習室に足を向かわせた動機は不明なので、そこは今後確認していく必要がある。
齊藤委員	大事な居場所になって、図書館に親しみながら学習している。大事な施設環境の一部に位置付けられていると言える。
	病児・病後児保育事業の利用状況を教えてもらいたい。

こども課長補佐	具体的な数字は持ち合わせていないが、病児保育室は以前から開設していて、数字がかなり伸びている。病後児保育は昨年 11 月からの開設で、まだまだ浸透していない部分もあり、想定よりも少ない状況である。
楠委員	施設側としては無償化したいという意向をパンフレットを見た。糸魚川市に無償化に向けて掛け合っているといった内容だった。病後児保育は不登校の子どもの居場所にもなり得ると思うので、利用しやすい料金設定などを考えていただきたい。
こども課長補佐	糸魚川こどもクリニックで開設をしていて、そこの院長からは無償化してはどうかという相談をいただいている。市としては、病児病後児保育室を利用すれば子どもを預けて、仕事を休まずに続けられるという働く方の働きやすい環境整備の一環で、一時保育事業などのいろいろな保育事業の一つだと考える。ほかの事業は利用料金が発生して、病後児、病児だけ無償というのはバランスもあり、今後の検討課題である。また、この施設は病気または病気の回復期の子どもを預かる場所で、スタッフも保育士から看護師それから学校関係者、いろいろなスタッフを取り揃えているので、居場所になるかと思うが、基本的には病気の子どもの預かる場所として整備をした。そういった目的で、施設建設の支援をしていることから、不登校の子どもの受け入れは、市としてはあまり全面的に出せない部分がある。院長とも相談をしながら、こういった受け入れが可能か話し合っていきたい。
教育長	ほかにご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	質疑なしと認め、付議案件に入る。
	議案第 15 号専決処分の報告について、糸魚川市社会教育委員の委嘱の一部変更について、事務局の説明を求める。
生涯学習課長	(資料に基づき説明)
教育長	今ほどの説明について、ご質疑はないか。
委員	(「なし」の声あり。)
教育長	ご質疑なしと認め、採決に入る。
	議案第 15 号について、ご異議はないか。
委員	(「異議なし」の声あり。)
教育長	異議なしと認め、承認する。
	原案のとおり承認
教育長	議案第 16 号専決処分の報告について、令和 5 年度糸魚川市一般会計教育費等補正予算（第 11 号）に関する意見の申出について、事務局の説明を求める。
こども課管理係長	(資料に基づき説明)

教育長
委員
教育長

今ほどの説明について、ご質疑はないか。
(「なし」の声あり。)
ご質疑なしと認め、採決に入る。
議案第 16 号について、ご異議はないか。

委員
教育長

(「異議なし」の声あり。)
異議なしと認め、承認する。

原案のとおり承認

教育次長

次回教育委員会定例会開催
令和 6 年 5 月 20 日(月) 15 時 30 分から
その他 特になし

教育長

以上で、令和 6 年第 8 回教育委員会定例会を閉会する。

11:38 終了